第2章　長期目標におけるプロジェクト

基本方針1　市民みんなが主役のまち

長期目標 1-1　環境活動が広がるしくみや場を活用します

【10 年後の目標】

項　　目	現状値(H26)	10 年後(H37)
環境の分野を横断する市民や市民グループの連携機会	年 5 回	年 10 回
環境活動の助成制度の実施	年 8 件	年 10 件
環境について市長と語る会の開催	年 0 回	年 3 回

※現状値(H26)は第二次環境基本計画の基準年度の状況です。

【プロジェクト】

①	市民や市民グループの連携の機会を増やす
②	地域の環境活動を応援するしくみを活用する
③	環境について市長と語る会を開く
④	市民が環境向上について学び、取り組む機会を作る
⑤	千曲市自然博物館の開設を検討する

①市民や市民グループの連携の機会を増やす

平成 18 年から実施された千曲市環境基本計画は市民の力で目標が達成され、市の環境は大きく向上しました。この第二次計画においても実行の主体は市民・事業者・市の３者としそれぞれの協働の絆を深めて計画の実効性を高めてまいります。

第一次計画で培われた多くの市民・市民団体のネットワークを強化し、さまざまな環境活動を各主体が適切に役割分担して、行政と協力してすすめられるよう、連携の機会を増やします。

その中で「市民環境憲章[1)]」についても検討していきます。

②地域の環境活動を応援するしくみを活用する

区・自治会や各種団体で行っている環境活動にはさまざまなものがあります。これらには、助成制度や活動を支援するしくみがあり、千曲市ではそのしくみを活用して地域の環境を維持向上させてきました。河川や道路側溝の清掃作業などがよい例です。団体による自発的なごみ拾いも行われていて、その際にはごみ袋の支給や集められたごみの回収などの支援を行っています。このことを再認識し、さらなる環境問題の解決に向けた市民の取り組みを活性化させ、より多くの市民が参加できるようにします。また、この取り組みを広報し、活動の輪をより広げていきます。

---

1) 市民環境憲章：千曲市の環境に関する重要で根本的なことを定めた取り決め。特に、基本的な環境に関する理念や行動指針をうたった宣言書。千曲市の環境に対して貢献のあった市民に対する表彰も視野に入れる。

③環境について市長と語る会を開く

市民と行政が協働で環境活動に取り組んでいくために、市民が市長と対話できる場を設けています。その中では、さまざまな分野の環境活動があり、どのような市民活動が根付き、取り組みをすすめているか、活動にあたって困難なことはどのようなことか、市はどのように市民活動に協力できるか前向きな議論をすすめていきます。また、市長のみならず教育現場や事業者との協力体制を構築するため、教育委員会や商工団体との意見交流の場を設けます。

市長と語る会の様子　平成 27 年 11 月５日

④市民が環境向上について学び、取り組む機会を作る

現在起きている環境問題は、身近な日常生活の中から地球規模までと多様かつ複雑なものです。これらの解決の方向に向かうためには、市、市民にとどまらず民間団体・学識経験者・研究機関等が連携し、実行と学習の繰り返しにより活動や理解の幅を広げて行くことが重要です。各主体がそれぞれの役割を活かしながらさまざまな側面から環境を学び、問題の解決を模索し、情報発信できるような場や機会を設けます。また、将来の環境を守るこどもたちへの環境教育を充実させるため、教育委員会や学校と連携して積極的に応援します。

平成 16 年から毎年開催されている
「千曲市こども環境サミット」
こどもたちによる環境への素晴らしい取り組みが
発表されます

⑤千曲市自然博物館の開設を検討する

千曲市の自然環境や千曲市の名前の由来となった千曲川の自然環境について、市民が学び、情報を得られる場として「千曲市自然博物館」の開設を検討します。

市民は

- 環境に対する意識を持ち、できることから始めます。
- 環境市民会議に参加協力することによって、環境基本計画を実現していきます。
- 地域の環境活動を企画運営し、助成制度を活用します。
- 環境について市長との対話をすすめます。

事業者は

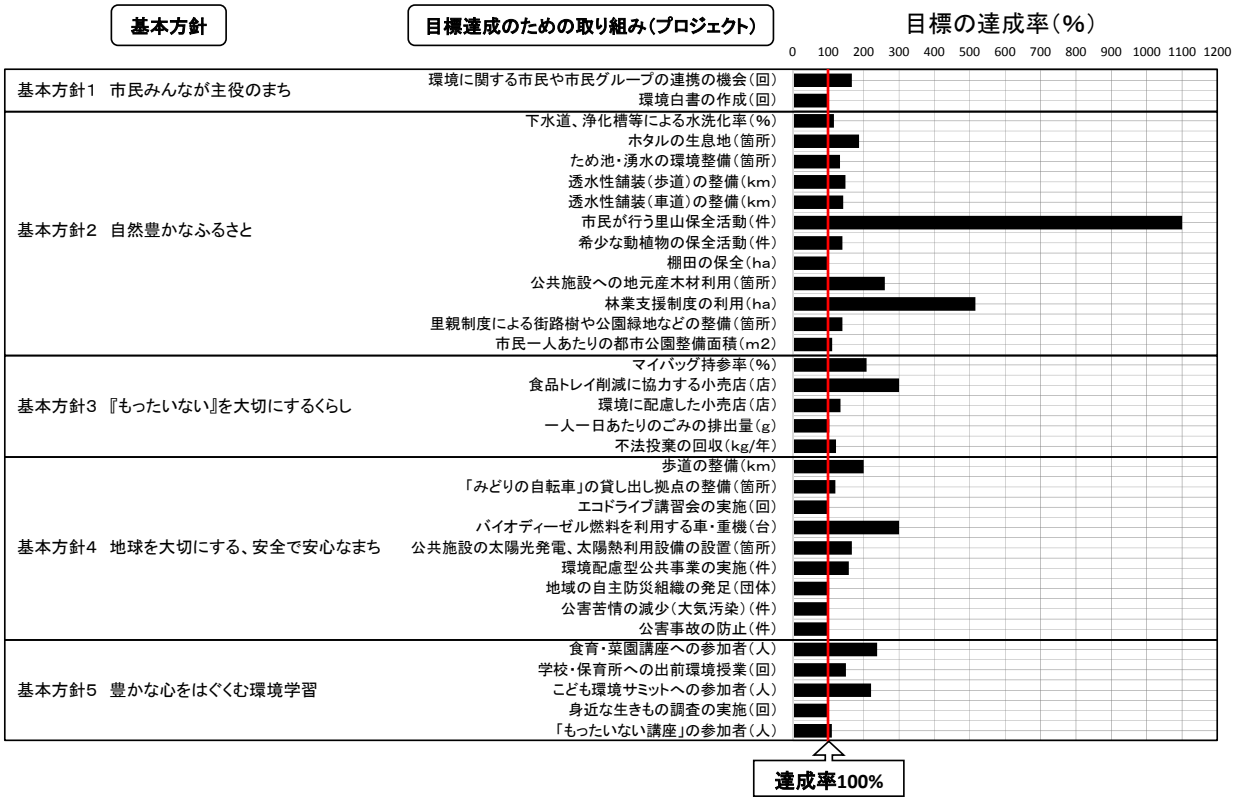
- 環境に対する意識を持ち、できることから始めます。
- 環境市民会議の運営に参加協力し、環境基本計画を実現していきます。
- 地域の環境活動に協力します。

千曲市は

- 環境都市をめざし、庁内調整能力の向上と各種計画の調整をすすめます。
- 環境市民会議の運営を支援して、協働で環境基本計画を実現していきます。
- 助成制度やさまざまなしくみや場をつくり、市民の環境保全活動を支援します。
- 市長と語る会の開催を通して、市民や事業者の意見を吸い上げ、市の環境向上の具体的な施策を推進します。

千曲市民（市民、事業者、行政）の力により第一次環境基本計画で目標を達成した取り組み

（達成率 100%が目標達成）



いろいろな環境活動の輪が広がっています！

千曲市環境市民会議の活動内容展示に訪れた園児
屋代駅前市民ギャラリー　平成 25 年 4 月 22 日

長野県環境保全研究所主催の公開セミナー
更埴文化会館で開催　平成 26 年 12 月 14 日
共催：千曲市、後援：千曲市教育委員会
協力：ＮＰＯ法人千曲市環境市民会議

マイバッグ持参を啓発するのぼり
ツルヤ稲荷山店　平成 27 年 10 月 27 日

手作りマイバッグ教室
稲荷山公民館　平成 27 年 11 月９日

ふるさと自然体験学習会
千曲市「水辺の楽校」　平成 27 年５月 23 日

プラネタリウムで夜空の観察
稲荷山養護学校　平成 26 年９月 16 日～18 日

長期目標 1-2　環境情報を発信し、市民の関心を高めます

【10 年後の目標】

項　　目	現状値(H26)	10 年後(H37)
千曲市の環境白書を作成・公表	年 1 回	年 1 回
環境情報の広報	年 58 件	年 70 件

※現状値(H26)は第二次環境基本計画の基準年度の状況です。

【プロジェクト】

①	千曲市の環境白書を作成し、公表する
②	環境情報を市民に伝える

①千曲市の環境白書を作成し、公表する

千曲市は市民、事業者とともに市内における環境情報や市民、事業者の環境への取り組み、また市役所内の環境マネジメントシステムへの取り組みなどをまとめて、年 1 回環境報告書（環境白書）を作成し、公表します。報告書の中では、取り組みの進行管理に対する市の見解も掲載します。また、報告書に対する意見を市民から得ることとします。

②環境情報を市民に伝える

地域で取り組んでいる環境活動の紹介や、環境に関わるイベントや活動、市の環境の現状、環境保全や廃棄物削減の啓発などの情報を、わかりやすく市報やホームページでお知らせします。さまざまな手段で、「おもしろい」「やってみたい」と思える情報を届け、環境向上の輪を広げていきます。

市民は

・環境白書の作成に協力します。
・市の環境情報に関心を持ち、情報サービスを積極的に利用します。
・市の環境への取り組みに対して理解を深めます。
・自らの環境活動について、情報提供を行います。

事業者は

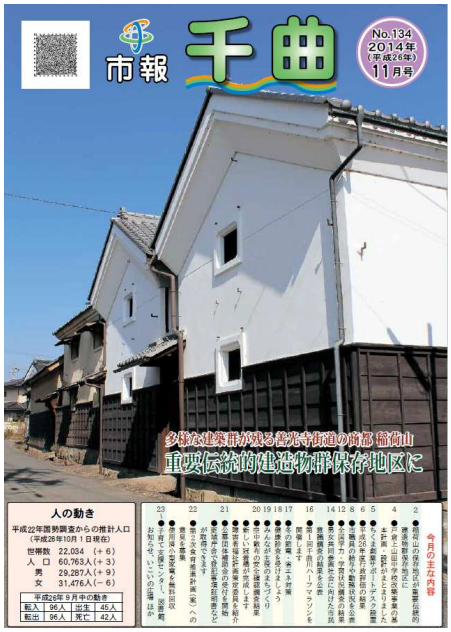
・市の環境情報に関心を持ち、情報サービスを積極的に利用します。
・事業者自らの環境活動を積極的に情報発信します。

千曲市は

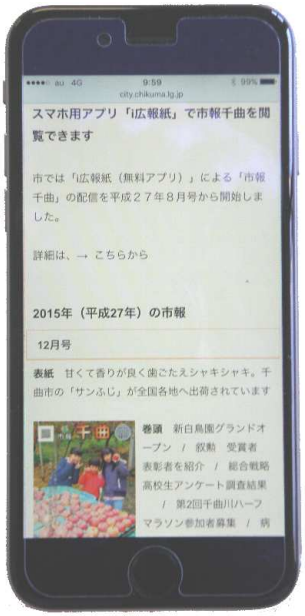
・千曲市の環境について毎年、環境白書を作成し、公表します。
・市報やホームページ、フェイスブックなどを利用して、環境情報を積極的に発信します。

平成 27 年度発行「千曲市環境白書」

千曲市のホームページ(環境課のイベント紹介)



市報　千曲



スマートフォンで閲覧できる「千曲市報」（ｉ広報誌）

千曲市のフェイスブック（facebook）

長期目標 1-3　地域のコミュニティを大切にします

【10 年後の目標】

項　　目	現状値(H26)	10 年後(H37)
コミュニティ[1)]単位で実施する環境活動	7 件	10 件

※現状値(H26)は第二次環境基本計画の基準年度の状況です。

【プロジェクト】

①	『ゴミニケーション』を展開する
②	地域のイベントや伝統行事を盛り上げる
③	市内一斉で打ち水大作戦を行う

①『ゴミニケーション』を展開する

『ゴミニケーション』とはごみを減らそうという市民の交流や活動のことです。「千曲川クリーン作戦」を筆頭に、地域では、河川や側溝の清掃、道路や公園のごみ拾い、通学路確保のための雪かき、資源回収、ごみの収集所の当番、街路樹への散水や手入れなどの環境活動が行われています。『ゴミニケーション』をきっかけに、自発的に活動できる地域づくりをめざしています。

千曲川クリーン作戦　平成 26 年 6 月 15 日

②地域のイベントや伝統行事を盛り上げる

環境づくりやまちづくりは、人や自然とつながりながら遊んだり、学んだりすることによって育まれていきます。自らが参加し、地域をつくっていくことによって愛着もわきます。区・自治会組織などを基盤とした地域のコミュニティを見直し、イベントや伝統行事などを通して、環境に配慮した愛着のもてる「ふるさとづくり」を行っていきます。

③市内一斉で打ち水大作戦を行う

夏期に市内一斉に打ち水を実施します。雨水などを活用した打ち水によって地域全体に涼を呼ぶことで、地球温暖化防止への理解を深め、また地域のつながりも深めます。

---

1) コミュニティ：地域性による結びつきの場合は「地域社会」、共通の関心などによる結びつきを重視する場合は「共同体」と言い換えられる。

更埴文化会館の前庭（ふれあい広場）での打ち水大作戦の様子　平成 27 年 7 月 29 日

地表の温度が約２℃下がりました！

市民は

・伝統行事などに参加しながら、コミュニティづくりに協力します。
・「ゴミニケーション」を深めて、地域の環境活動に積極的に取り組みます。
・市内一斉で打ち水大作戦を行政とともに企画し、参加・協力します。

学校は

・打ち水大作戦に参加・協力します。

事業者は

・伝統行事などに参加しながら、コミュニティづくりに協力します。
・「ゴミニケーション」を深めて、従業員の地域参加を促します。
・市内一斉で打ち水大作戦に参加・協力します。

千曲市は

・地域の環境活動や伝統行事の情報を積極的に発信し、助成制度を活用することによって支援します。
・市内一斉打ち水大作戦を市民とともに企画し、支援します。